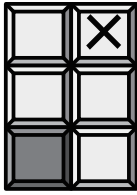


【解答・解説】

(1)



(2) 例えば、右上端の1個を取る手は「Nくんにとっての必勝の1手」か、「Nくんにとっての必敗の1手」のいずれかになると考える。

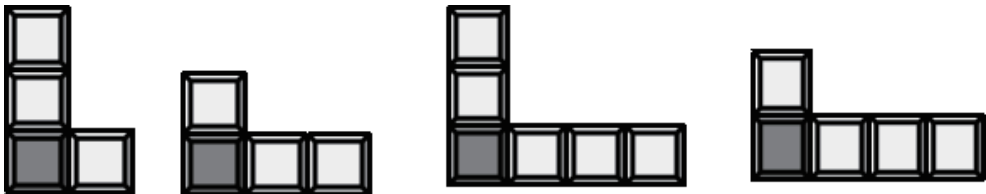
右上端の1個を取る手が、「Nくんにとっての必勝の1手」ならば、そう取れば勝つ…①  
 右上端の1個を取る手が、「Nくんにとっての必敗の1手」ならば、次に取るSくんにとって必勝の1手、つまり必勝の形が存在するはずである。しかし、もとの形が長方形なので、Sくんにとって必勝の形があるとすれば、その形と同じ形を1番初めにとるNくんがとることができる。よって、Nくんがその取り方をすればNくんは勝つ…②  
 ①②より、Nくんは必ず勝つことができる。

(3) まず、残し方から考える。

① Sくんがとる順番のとき、以下のような形になれば必勝である。



② 上の形がわかると、Nくんがとる順番のとき、以下のような形も必勝である。



③ すると、Sくんがとる順番のとき、下のような形も必勝であることがわかる。



解答 よって、Nくんの必勝の1手は、次のようになることがわかる。

